

山口県生協連 ニュース vol.230

発行：山口県生活協同組合連合会
〒753-0083 山口市中後河原 210
TEL: 083-923-5614 FAX: 083-928-5416
E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp
<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>

2019 年 8 月 1 日発行

山口県生協連 第 70 回通常総会を開催



6 月 19 日(水) 14:00～16:00 山口県
労福協会館にて、山口県生活協同組合連合会
第 70 回通常総会を開催しました。

出席はご来賓 3 名(山口県労働者福祉協
議会：中繁尊範会長、日本生協連中四国地連事
務局：大同久人事務局長、山口県原爆被爆者
支援センターゆだ苑：坂本由香里事務局長)、
県連理事・監事 11 名、代議員 48 名(実出席
26 名、委任状出席 22 名)でした。



主催者を代表し、当連合会の有吉会長があいさつをおこない、続いてご来賓を代表して、中
繁会長と大同事務局長からご祝辞をいただきました。

有吉会長挨拶「県生協連は今年設立 70 周年を迎えます、全国でもトップ
クラスの早さで設立されました。先達の先駆性に学び、次への大きな発展
のきっかけにしていきたい。これまで県生協連は伝統を受け継ぎながら
様々なチャレンジをしてきました。一方で加速する少子高齢化社会、人口
減少、ネットの普及などにより厳しい状況にある生協もあります。この状
況をどうしたら良くなるのか、会員生協と一緒に知恵を出し合って考え
協力していくことが必要であり、お互いに役立つような生協連にしてい
きたい。今日は実りある総会にしていきたいと思います。」



有吉会長

中繁会長ご挨拶「お互いにスクラムを組んで、組合員や地
域の皆さんの暮らしの安心安全を追求し、共に支え合い助け
合う事と運動の意義や大切さを発信して生協運動のさらな
る発展につとめて下さい。」

大同事務局長ご挨拶「共有したいことは“つながりの大切
さ”で、諸団体、行政、マスコミなどと幅広いネットワーク
で誰ひとり取り残さないつながりを作っていきたい、小さな
つながりは大きな力になると確信しています。」



中繁会長



大同事務局長

議長、書記の任命後、資格審査をおこない、代議員定数 48 名、本人出席 26 名、委任状出
席 22 名の全員出席で総会が成立していることを報告しました。

第 1 号議案の 1「2018 年度活動報告・決算報告および剰余金処分案承認の件」、第 1 号議
案の 2「監査報告」、第 2 号議案「2019 年度活動計画案および収支予算案承認の件」、

第3号議案「役員報酬限度額承認の件」、第4号議案「議案決議効力発生の件」について提案・審議を行いすべて賛成多数で採択されました。

第1号議案の審議で、コープやまぐちの堀川代議員より《福島の子ども保養プロジェクト コヨット！in やまぐち》についての報告、梅光学院大学生協の田中代議員からこの春、オープンしたイタリアンレストランについて、オープンまでの企画や運営についての協議の様子や施設やメニューなどの紹介を、山口県共済生協の中嶋代議員より全労済の新しい愛称「こくみん共済 coop」について発言がありました。



採決の様子

議長解任のあいさつをもって総会は終了しました。

最後に、生協連が支援する山口県ユニセフ協会の事務局で県連理事でもある高木さんからユニセフ海外スタディーツアーで参加したアフリカのブルキナファソの視察報告がありました。



議長の中野代議員



堀川代議員



田中代議員



中嶋代議員

県生協連 70 周年記念事業

～山口大学で生協について講義を行いました～



県生協連は今年、創立 70 周年を迎えました。創立 70 周年の記念事業は、今後の山口県における生協運動の更なる発展のために、生協を知らせる事をテーマに掲げています。若い世代に生協を知ってもらう為、地域福祉社会学を研究されている、山口大学経済学部経済学科 鍋山祥子教授が受け持つ授業で1講義をさせていただきました。

日時：7月4日 10：00～11：30

講師：山口県生協連 専務理事 荒瀬 泰

講義テーマ 「協同・共助の組織である『生活協同組合』の設立過程と現在の事業について」

受講者数：89名

はじめに、鍋山教授から、地域づくりや福祉に関して生協がどう動いているのか学んでほしいと言われ、荒瀬専務は、生協がどんなものでどんなことをしているか、それを通じて社会の問題についても考えて欲しいと述べました。

1.生協、協同組合とは

組合員による出資・利用・運営の原則などについて、協同組合と生協の種類についてなど

2.生活協同組合の歴史と社会的背景

産業革命～ロッチデール公正開拓者組合の誕生～ヨーロッパから世界へのひろがりについて

3.日本における生活協同組合の発展過程と社会的背景

社会の動き、消費者問題・社会問題の状況とそれに対する生協の動きを解説。近年は人口減少と高齢化が進み福祉のニーズが高まってきた事など生協は時代のニーズに合わせて発展してきたこと。

4.生協の社会的取り組み 5.生協の事業

①宅配、店舗、共済、福祉、その他。西日本豪雨や周防大島の災害時に生協が行った事や、移動店舗、お買い物サポートカーなどの事例紹介。

②コープやまぐちの 2018 年度活動の映像を使って、消費者ニーズの実現、食の安全、SDGs について、くらしの見直し、福祉、平和の取り組みについて。福祉についてはおしゃべり会、おとなり会、おたがいさま等の活動を紹介。『自助』『公助』『共助』の共助は人と人のつながり、地域コミュニティの形成が重要な必要条件であること。

受講された学生からは、

「生協が何を行っているのか具体的には知らなかったが、今日の講義で私達の生活の支援にとっても積極的で、生協によって支えられていることがたくさんあることを知ることができた。」

「生協は人と人とのつながりを大切にし、生協を中心として町を助けネットワークをつくっていくという活動もされているので、生協を通じてより良い町がこれから増えていくことを期待する」

「買い物をする店舗が減少して高齢者を中心に困っ

ている人が増加している。運転免許返納をためらう高齢者もいる。コープの取り組みによって多くの人が助かっていると思います。地域のつながりのサポートにも貢献しているように感じました。」

「災害の時には、すぐに募金活動や支援物資を提供し、助け合うことを徹底していて組合員にとっては大切な存在だと思います」などの感想をいただきました。

70 周年記念事業のテーマの通り、若い人たちに生協の事業や活動について知ってもらう有意義な取り組みとなりました。



◆山口県知事への平和要請を行いました。



7月12日(金)、山口県ピースアクション実行委員会は核兵器の廃絶と平和な世界を願って、山口県庁にて、県知事へ平和要請を行いました。出席者は山口県環境生活部約30名、ピースアクション実行委員会と協力団体より約30名。

*ピースアクション実行委員会構成団体(山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち)*協力団体(山口県原爆被害者団体協議会、山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑)



◆第2回山口県報道懇話会と生協連との懇談会を行いました

7月23日（火）18時30分から山口市内のホテルかめ福にて山口県内のマスコミ13社で構成される山口県報道懇話会（テレビ局4社、新聞社6社、通信社2社、ラジオ局1社）と県生協連との懇談会を開催しました。マスコミからは8社8名、生協連からは7生協10名が参加しました。

第1部の懇談会は会員生協の活動紹介をしました。初めに県生協連の有吉会長から、マスコミ関係者の皆さまにはお忙しい中お集まりいただき、このような場を持てたことに感謝するとともに消費者のニーズに応えてきた生協がこれからどんなふうに進めていけば良いのかアドバイスをいただきたいと挨拶をしました。続いて報道懇話会幹事の共同通信社山口支局長の細川洋嗣様からごあいさつをいただきました。生協の様々な活動を教えていただける貴重な機会ですから、お互いの理解を深め良い場となるよう期待していますと述べられました。

続いて、県生協連の荒瀬専務が県生協連の活動について報告をしました。その後、会員生協の活動紹介として、医療生協健文会の三藤理事が「医療生協の地域まるごと健康づくり」と題して、山口大学生協の中井理事から大学生協の取り組みについて、それぞれ映像を使って説明をしました。

第2部の懇親会では、食事をしながらマスコミの皆さんからの質問や感想をもとにテーブルごとに懇親を深めました。

昨年に続き2回目の懇談会でしたが、マスコミ関係者の方には初参加の方も多く、生協の活動や取り組みを知っていただける良い機会となりました。

医療生協の広範な活動や大学生協が学生の生活全般に対して積極的にサポートしている取り組みに、関心が寄せられました。



有吉会長



細川洋嗣様



♪今後の行事予定♪

- 8月22日 県連第1回理事会（於：梅光学院大学生協）
- 8月28日・29日 中四国生協行政合同会議（開催県：香川県）
- 9月19日 県生協連役職員研修会
- 11月7日 山口県生協連70周年記念行事（於：ホテルかめ福）
 - 記念講演 尾木直樹氏 14:00～15:00
 - 記念式典・レセプション
- 12月8日 県生協連親睦ボウリング大会 ボウリングの森

